

保育おおさか

平成15年12月1日 第340号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

36人 歩んだ道に「光」

●秋の叙勲●

瑞宝双光章 岡崎 九子 (めぐみ保育園)

●厚生労働大臣 (社会福祉事業従事者)●

小林 康秀 (日の丸保育園)

志摩 達夫 (堺東保育園)

●厚生労働大臣 (日本保育協会/保育事業従事者)●

森田 知子 (花園保育園)

坂本 道子 (山直南保育園)

西山 梢 (守口中央保育園)

嶋田 典之 (取石南保育園)

奥山美智子 (ひし的美保育園)

阿部みな子 (旭丘まぶね保育園)

乾 信子 (大東みのり保育園)

望月まり子 (星光保育園)

門谷 明 (陽気保育園)

●全社協会長表彰 (功労)●

太田垣貞子 (藤森保育園)

村井 仙一 (ふじ保育園)

織田 誠 (しらゆき保育園)

森本 博嗣 (はちまん保育園)

岩田 公子 (常称寺保育園)

伊山千鶴子 (国分保育園)

●全社協会長表彰 (永年勤続)●

高橋 一之 (あすか保育園)

山内カズ子 (あすか保育園)

石田 廣子 (くずは光の子保育園)

小北智榮子 (ギンガ保育園)

岡田あさ子 (新堂保育園)

山田ミサ子 (文化保育園)

中村美代子 (高鷲保育園)

杉本 勝子 (一乗寺学園)

野村 光恵 (船橋保育所)

村井 妙子 (ふじ保育園)

上田あみ子 (徳風保育園)

水野 信子 (枚方たんぽぽ保育園)

竹谷 久子 (むぎの穂保育園)

織田 和子 (しらゆき保育園)

岡本 節子 (光陽保育園)

古谷加代子 (ひまわり保育園)

竹馬のぶえ (寝屋川めぐみ保育園)

桐畑 和美 (あすなろ保育園)

多様性 「生きる力の原点」

— 府外園長研修 —



藤田哲士室長

研修会は、高岡国土部会長のあいさつの後、講演Ⅰとして大阪府健康福祉部児童家庭室室長の藤田哲士さんが、「大阪府保育行政の

さわやかな秋晴れの中、府外園長研修会（北摂ブロックの幹事）が、10月29日～30日の2日間、102人が参加し三重県賢島で開催された。講演Ⅰでは、大阪府の保育行政を、講演Ⅱでは、「生きる力の原点」を学ぶ研修となった。



講演に聞き入る参加者

動向について」と題し、「大阪府健康福祉アクションプログラム」―健康福祉施策の再構築（素案）―平成15年9月にもとづいて、

次のような施策に重点的に取り組むと説明された。

①「働く親の応援団」として「保育所持機児童ゼロ」の実現をめざします。

②「子育て応援団」として、「在宅子育て家庭」支援に新たに取り組みます。

③「親の安心」確保に向け、夜間や休日でも安心できる小児救急医療に万全を期します。

④自閉症や障害児など、援助を要する子どもと家庭を支援します。

⑤元氣な子育てを「食育」などで応援します。

以上平成16年から5年間を見据えた方向性を示された。



中村元会長

講演Ⅱは、伊勢志摩NP Oネットワークの会長・元鳥羽水族館副館長の中村元さんが、「正解はいっぱい―生きる者の哲学―」と題し講演された。

講演の中ではさまざまなクイズを出され、例えば、

(2面へつづく)



朝の冷え込みがだんだんきつくなり、園庭の木々の落ち葉も多くなった。いよいよ、秋から

冬への、季節の移り変わりを、なお一層感じるようになった今日この頃です。

昨日は、子どもたちと一緒にミカン狩りに行きました。取りたてのミカンをとってもおいしそうにほうばる姿が、とてもかわいらしく印象的でした。ミカンの歴史を調べてみると、日本では遣隋使、遣唐使によって柑橘が伝来（飛鳥時代607年頃から）されたといわれています。地理的に近い九州に種々の柑橘が持ち込まれるようになりました。でも柑橘は種による増殖はできないというのです。いゝろんな失敗を繰り返しながら栽培し、そして、肥後の国八代郡高田村（熊本県八代市）で栽培されだしたのが中国の浙江省から伝来した小ミカンであったとされています。やがて、1574年、伊藤孫衛門が紀州に持ち帰ることになるのがこの小ミカンという伝説なのですが、まあ、とりあえず、こたつに入って美味しいミカンを食べたい、ビタミンCをたくさんとって風邪をひかないようにがんばりましょう。

(S・S)

子育てと未来 OSAKA

—熱気のシンポジウム—

人間の土台 しっかり築こう

子育てと未来に関するシンポジウムは、関西経営者協会・私立幼稚園経営者懇談会・社会福祉懇談会が、11月8日(土)、大阪府中央区の大阪府立女性総合センターで行われた。

当日は、定員500人近い来場者があり、「子育て」に対する関心の高さがうかがわれた。



太田房江知事

記念講演では、太田房江大阪府知事が、世界に取り残されたいためにも、大阪府が子育て日本一を目指さなければならぬ。大阪という都会でのメリットは、「多様な学校の選択肢があり、また、地域のコミュニティの充実や都市型資源が豊かであり、子育てを支えられる力がある」と子育てに対する熱意を語られた。

最後に「子どもは社会・未来の宝」と考え、社会全体で取り組んでいく必要がある、と記念講演を締めくくられた。

続いて「未来を拓く子どもたち」をテーマにシンポジウムが行われた。シンポジストに、NPO法人高槻子育て支援ネットワーク代表理事石井智子氏、コミュニケーションファ代表取締役今井尻由利子氏、大阪府スクールカウンセラースーパバイザー・神戸女学院大学非常勤講師良原恵子氏を迎え、私立幼稚園経営者懇談会副会長の安家周

Q 浦島太郎が助けたカメは雄か雌か？
A 雌である。(へえー……)
自分が生まれた海岸で産卵するため。一生のうち、産んだカメの子は、子孫として残るのは、2匹だけ、そのうち1匹だけが陸に上がるそうだ。

Q ちようちゃんアンコウが、光るのは、餌に見せかけているためである。光るのは、雄か雌か？
A 雌である。(へえーへえー)
雄は、雌よりだいぶ小さく雌のお腹にくっついて養分

をもらう。究極のヒモ状態。雄のからだは退化し精巣だけ残る。(へえー……)

初めて知るいろいろな動物の生態のしくみを知り、「生きる力」とは多様なそれぞれを力発揮させることであり、多様性こそが、生きる力の原点。いろいろな生き方があって、今までの価値観・あたりまえのことに疑問をもつことである。そして、さまざまな生き方をのばすことが大切である、と結ばれた。

(摂津さつき保育園 M・H)



—シンポジウム—

また、昨今起こった事件を例にあげ、いじめ、非行の増加・母親の子育てについての孤立化・核家族化・虐待の増加など、子育てに育ちに欠陥があると指摘された。

教育の現状については、大阪教育7日制を提示し、公民共同で、子育てネットワークの強化を行う予定であり、また、全国初のキンダーカウンセリングを43か所の幼稚園で実施している」と実例を挙げられた。

一氏がコーディネーターを務められた。

現在の高校生の意識調査や、若者の気質の分析、育児ストレスによる虐待の増加、しつけについての若い親や若い世代の捕らえ方など、今までの実体験をもとに、目の前にある問題がいかに未来へつながり危険であるかということをおのの立場で語られた。

その結果、失敗やトラブルを恐れ、完璧でなければ

社会から受け入れてもらえないという思い込みから、若い世代のコミュニケーション能力が薄れている現状に

対し、企業教育だけではなく、人間の土台を作るという点から幼児教育の重要性を指摘し、子育てとは社会全体でとらえていくべきであり、また「自分の子ども時代を生き直すことである」という言葉が印象的であった。

(ゆめの子保育園 Y・K)

福祉支援は進んでいますか？

府社協各施設部会

3割であった。

地域への福祉

では、各法人が地域社会に対し、どのような福祉の支援事業を行っているか「地域の福祉向上に向けた事業および推進体制等に関する調査」を7月に行った。

社会福祉法人の有する高い公益性や福祉性、存在意義を明確化するため重要な調査であり、今回は主なポイントを報告する。

回収率は全体の約30%で、1077施設から319施設が回答があった。

うち保育の占める割合は

「事業推進にどのような支援を希望しますか」の設問には、「地域住民・団体のニーズ把握」が25%と最も多く、次いで「地域福祉向上事業の具体例の紹介」が19%であった。

「地域住民への福祉支援事業・活動の有無」については、実施している施設が約40%にとどまっていた。

具体的な事業では、小学生から大人を対象とした「ファミリーキャンプ」や、中学生を対象にした「体験学習」、地域の子どもたちが参加する「レインボー保育(青空保育)」などがあげられていた。

—こどもフェスティバル2003—

『一致団結』
子育ての輪

枚方私立保育連絡協議会

枚方市私立保育連絡協議会（加入33か園）主催で、11月1日（土）秋晴れの下、「子どもフェスティバル2003」が、枚方市民会館で行われた。

このフェスティバルは、「未来を担う子どもたちの健やかな成長を願って子育ての輪を広げよう」という子育て支援の趣旨で開催された。

枚方市の保育園では、各園で子育て家庭支援を、園庭開放などを通して行っているが、全園が協力して子育て支援ができないものかとの提案があり、春から幾度となく検討・話し合いがもたれて今回の運びとなった。

内容は、大ホールで「歌のお姉さん、お兄さんによるファミリーコンサート&



忍たま乱太郎ショー」が2回あり、ロビーでは、「子どもいきいき写真展」が開催され、育児相談コーナーも設置された。

午後からの開場にもかかわらず午前中から行列ができ、2回とも会場は、親子の拍手・歌声・笑顔でいっぱいになった。

また、枚方市長中司宏氏・大阪府児童家庭室室長藤田哲士氏・保育部会長高岡國士氏をはじめ、多くの来賓も駆けつけてくださり、子どもたちと一緒に熱心にコンサートをご覧になり激励していただいた。

そして、現在ではカウンセセリングと言え、この「来談者中心療法」が主流をなすまでに発展してきたのです。

これは、簡単に言ってしまうと、クライエントの話をも支持的に「うん、うん。なるほど」とか「それは大変でしたね」とか共感しな

ある調査では、ふたりにひとりのお母さんが「気軽な育児相談」を希望しているという話です。

昔と違い、おばあちゃん

園長・保育士など総勢60人余りのスタッフが、イベント会社との交渉・ポスター配り・応募はがきの整理・パンフレットの作成と事前準備に始まり、当日は受付係・会場整理係・救急迷子係などの担当を受け持ち、緊張しながらも文字通り私立保育園33か園が「協力」し無事終了することができた。

これは、簡単に言ってしまうと、クライエントの話をも支持的に「うん、うん。なるほど」とか「それは大変でしたね」とか共感しな

受け入れられるのが最大のポイントになるワケです。

昔と違い、おばあちゃん

園で働く者は、子育ての

園長・保育士など総勢60人余りのスタッフが、イベント会社との交渉・ポスター配り・応募はがきの整理・パンフレットの作成と事前準備に始まり、当日は受付係・会場整理係・救急迷子係などの担当を受け持ち、緊張しながらも文字通り私立保育園33か園が「協力」し無事終了することができた。

落語医者の保育うだうだ話

『あいづち』と『うなずき』②

この技法は、フロイトの考え出した「精神分析」が、厳密には、長期間の訓練や自己分析を受けた「精神分析医」によってしか施行できず、そのため金銭的にも時間的にも大きな負担を患者さんにかかることへの疑問から生まれたのです。

がら、ジツクリと聴いてあげ、時々、話をまとめたり、患者さんの話をオウム返しに繰り返してあげたりしながら、患者さんの言いたいことや感情などを吐き出させるという方法です。

と自分で気づいたり、少し自分の視点を変えてみる余裕が生まれるのです。

あげられるのが最大のポイントになるワケです。

その時には、是非とも「あいづち」と「うなずき」を忘れないで、シツカリとジツクリと母親の悩みや不安を聴いてあげるようにしてください。

公演が終わり、笑顔の親子を見るにつけ、健やかな成長を願わずにはいられなかった。また、微力ながら子育てのお手伝いを実感でき、心地良い疲労感に包まれた。

このとき、自分の話をジツ

業務があります。

（英）

（ギンガ保育園 K・T）

保 育 部 会
TEL 6762-9001
発 行 人
高 岡 國 士
編 集 人
水 崎 勝